筑前町議会だより

うぶすな

中牟田小学校６年生卒業の日（関連ページP16）　※写真は学校提供

第61号

2021.5

●編集発行
筑前町議会広報特別委員会
電 話 0946－42－6622

バックナンバーはこちら

▶各委員会の紹介……P２～３　▶令和３年度予算審査……P７～９　▶町政を問う（一般質問）…… P10～14　▶一般質問その後どうなった？……P15

気持ちも新たに！

令和3年2月より、各常任委員会・広報特別委員会の新体制がスタートしています。
議員それぞれが委員会の一員として、町の課題解決に向け一致団結してまいります。

総務建設常任委員会

委 員 長：木村　博文
副委員長：木村　和彦

総務建設常任委員会は、行政の要である、総務・財政・企画課、及び農林商工やインフラの整備等を担当する委員会です。皆さんの大切な税金が適正に使われているか、しっかりとチェックしていきます。

委員長
木村（きむら）　博文（ひろふみ）

住民ひとりひとりの声を大切に、みんなで創造する元気いっぱいの筑前町を！

田中（たなか）　政浩（まさひろ）

災害に強い町づくりを推進し、「住んでよかった筑前町」を全力で。

副委員長
木村（きむら）　和彦（かずひこ）

自然豊かな筑前町を未来の子どもたちへ渡せるよう、取り組んでまいります。

山本（やまもと）　久矢（ひさや）

もっと住み良いまちへ。元気印の筑前町をめざす！

柳（やなぎ）　雅明（まさあき）

元気よく遊び、たくさん食べ、よく勉強する子どもたちが大ぜい住む町でありたい。

田口（たぐち）　譲司（じょうじ）

水よし、緑よし、歴史豊かな筑前町に、微力ながら町づくりに努力します。

持山（もちやま）　英幸（ひでゆき）

より良い町づくりに「一歩一歩確実に」をモットーに頑張ります。

各委員会の紹介

文教厚生常任委員会

委 員 長：深野　良二
副委員長：寺原　裕明

「見て・聴いて・町に提言」をテーマに委員会活動をしています。住民の生活に直結する問題や課題を多く抱えていますが、ひとつでも町政に「提言」していくために委員一同頑張ってまいります。

委員長
深野（ふかの）　良二（りょうじ）

私の座右の銘である「不可侵・不可被侵」を貫き、住み良い筑前町を目指します。

副委員長
寺原（てらはら）　裕明（ひろあき）

「住んでよかった！筑前町」の実現に、町民の皆様とともに取り組みます。

横山（よこやま）　善美（よしみ）

住みよいまちづくりを目指して挑戦。「さらに前進!!」します。

河内（かわち）　直子（なおこ）

「継続は力なり」をモットーに、希望が見える社会にするため、力を尽くします。

石橋（いしばし）　里美（さとみ）

「一人の声を大切に」笑顔あふれる町づくりに取り組んでまいります。

奥村（おくむら）　忠義（ただよし）

子育て支援の一環として、筑前町に「子ども食堂」を広めるよう努力します。

山本（やまもと）　一洋（かずひろ）

町民の声に耳を傾け、寄り添い、住んで良かったと思う町づくりを目指します。

議会運営委員会

委 員 長：横山　善美
副委員長：木村　博文
委　　員：深野　良二
委　　員：木村和彦（議会活性化担当）
委　　員：寺原裕明（議会活性化担当）

★議会運営や、議会の会議規則、委員会、議長の諮問に関する事項の調査を行います。
また、議会の活性化に関する調査・研究を行います。

議会広報特別委員会

委 員 長：石橋　里美
副委員長：柳　　雅明
委　　員：寺原　裕明・木村　和彦
　　木村　博文・河内　直子

★議会だより「うぐいす」の編集をします（年4回発行）。
一人でも多くの方に、議会を身近に感じてもらえるよう「中学生が読んでも分かりやすい紙面」を目指します。

コロナに負けるな!

第2弾

～子どもたちと新型コロナの一年間～

今回は、三並小学校の校長先生にインタビューし、子どもたちの様子についてお話を聞きました。

令和2年度は、「6月の新学期スタート」「夏休み短縮」等、今まで経験したことのない1年間となりました。

日々の授業や、学校行事としての教育内容も、大きく制限を受けた中での取り組みとなりました。そんな中でも、6年生を中心として、「コロナに負けるな」を合言葉に、臨機応変に対応して1年間を頑張ってきました。（三並小学校　校長　井手富孝先生）

○日常では･･･

手洗い･うがい

相手との距離

○運動会

参観者の制限･午前中開催

○卒業式

満開の桜が6人を祝福

臨時議会

令和3年第1回臨時議会が、2月1日に開かれ、報告2件、承認2件の計4案件を審議。

【専決処分の報告】

◇宗像ユリックス駐車場内での事故

◇本庁舎駐車場内での事故

問　事故発生の報告に時間がかかり過ぎている。また、公用車事故に対する指導は十分か。

答　多大な事故ではないため、地方自治法第180条（専決処分）の規定により報告している。また、安全運転に努めるよう指導・注意喚起を行っていく。

【専決処分の承認】

◇農災第1号鳥巣地区災害復旧工事

○擁壁工等の面積が増えたことによる請負契約の変更（278万円の増額）

◇令和2年度一般会計補正予算（第7号）

新型コロナワクチン接種事業費　1億8254万円

（主なもの）

○委託料1億6934万円

・医療機関へのワクチン接種委託料　1億3895万円

・コールセンター・事務の人材派遣　2557万円

・接種券等の発行業務　275万円　他

新型コロナワクチン接種のために、たくさんの予算が必要になりました。ワクチン接種は基本的には任意ですが、できるだけ多くの方に接種をお願いしたいものです。

★専決処分とは？

本来、議会が議決しなければならない事件を行政運営の滞りを防ぐため、例外的に町長が意思決定することです。専決処分には2種類あります。

①特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないときなど。次の議会で報告･承認が必要（地方自治法第179条）。

②軽微な内容であらかじめ議決によって指定している場合。次の議会で報告が必要（地方自治法第180条）。

3月定例会

3月2日から12日の11日間の日程で開催された。
諮問2件・同意2件・報告1件・承認2件・議案20件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決した。
主な議案は以下のとおり。

◇令和2年度一般会計補正予算（第8号）
○新型コロナワクチン接種体制人材派遣委託契約が、3月初旬からとなったため

◇令和2年度一般会計補正予算（第9号）
（主なもの）
○事業精査による減額補正

◇令和2年度一般会計補正予算（第10号）
歳入（主なもの）
○国庫支出金
新型コロナワクチン接種対策費負担金
○県支出金
県知事選挙執行委託金
歳出（主なもの）
○新型コロナウイルス地方創生費の決算による減額
○各小中学校の感染防止対策による消耗品費・備品購入費の増額

◇国民健康保険税条例の一部改正
○低所得世帯の国民健康保険税の軽減判定所得の見直し

◇子どもの権利条例及び子ども・子育て会議条例の一部改正
○第2期筑前町子ども・子育て支援事業計画を、子どもの権利条例に基づくものとして条例上に明記
他

新委員の紹介

◇人権擁護委員
島村（しまむら）久雄（ひさお）氏（再任）
柳（やなぎ）雅明（まさあき）氏（再任）

◇筑前町固定資産評価審査委員
森部（もりべ）純一（じゅんいち）氏（新任）

◇農業委員会委員
（19名　うち女性2名）
任期満了に伴う任命

議員の討論　令和3年度一般会計予算

河内直子 議員

反対討論

コロナ禍の中で経済が落ち込み、税収も減額見込みである。住宅リフォーム助成制度は経済波及効果が大いに見込まれ、まだまだ制度を必要としている方もいるため廃止すべきではない。
また、一つの任意団体に過ぎない、部落解放同盟への600万円を超える補助金は、町民の理解を得ることはできないと考える。

他議案の議員討論は6ページをご覧ください。

深野良二 議員

賛成討論

町が6年間取り組んできた住宅リフォーム補助制度は町単独費で継続しており、財源の確保が困難。これまでの申請状況や経済効果から一定の成果が見られ、空き家対策をはじめとする新事業の検討も必要であることから、事業の廃止は適正な判断である。
部落解放同盟については、活動実態の審査や会計指導などがおこなわれている。部落差別の撤廃は急務の課題であり、補助は適正である。

令和３年 ３月定例会

区分	審議結果	議案名＼議員名	寺原 裕明	柳 雅明	持山 英幸	石橋 里美	木村 和彦	深野 良二	田口 譲司	山本 一洋	奥村 忠義	山本 久矢	木村 博文	河内 直子	横山 善美
令和３年度 歳入歳出予算	可決	一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○
			※賛成・反対討論はP5参照												
		国民健康保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○
			【反対討論】河内：これまでも高すぎた保険税を一昨年引き上げ、2年続けて黒字となる見込みである。引き続き、国民健康保険への国庫負担額の増額を求めるとともに、黒字分は保険税の引き下げに充てるべきと考える。												
			【賛成討論】奥村：令和元年度から一般会計からの法定外繰り入れは無く、安定した国保財政運営に努めている。重症化予防対策と、医療費抑制を図る取り組に努めている予算となっている。												
		後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○
			【反対討論】河内：75歳以上の人口が増え、医療給付が増えれば自動的に保険料が上がるという、限りなく負担増となる制度である。一日も早く元の老人保健制度に戻すべきである。												
			【賛成討論】山本（一）：広域連合と連携しながら適正に業務遂行し、高齢者の方々の心身に応じた医療を提供する適正な内容と判断する。												
		住宅新築資金等貸付事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○
			【反対討論】河内：償還期間が過ぎ長い年月が経っているのに、未だに貸付金が残っている。年月を重ねるほど回収は困難となってくる。早期解決に向け強制執行も含め検討し、後に続く職員に負担を残すべきではない。												
			【賛成討論】横山：弁護士相談の活用や、収納対策アドバイザーによる指導、面談による納付計画の見直しなど、効果的な事務遂行のための適正な予算である。												
		工業用地造成事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		下水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
令和２年度 補正予算	承認	【専決処分】一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	可決	一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		下水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
条例の一部改正	承認	【専決処分】国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	可決	筑前町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		筑前町子どもの権利条例及び筑前町子ども・子育て会議条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		筑前町特別職の職員等で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		筑前町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
人事案件	適任	人権擁護委員の推薦（諮問第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		人権擁護委員の推薦（諮問第2号）	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	同意	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		農業委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
その他	報告	専決処分の報告（本庁舎駐車場内での事故）	報告のみ												
	可決	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の増加及び組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		町道の路線認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		町道の路線変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○

第１回臨時会（2月1日）

その他	報告	専決処分の報告 （宗像ユリックス駐車場内での事故）	報告のみ												
		専決処分の報告（本庁舎駐車場内での事故）													
	承認	専決処分の報告・承認 （農災第1号鳥巣地区災害復旧工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算補正	承認	専決処分の報告・承認 （令和2年度一般会計補正予算（第7号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長　田中政浩は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。

令和３年度 予算審査特別委員会

横山 善美 委員長のもと、令和3年度一般会計および特別会計の予算審査特別委員会を2日間の日程で行った。

一般会計当初予算総額

116億8557万円

令和3年度当初予算は「骨格予算」とし肉付予算は6月の定例会で最終決定する。

★骨格予算とは？

町長選挙が行われる年度は政策的な判断ができにくいため、人件費等の義務的経費や継続的な事業経費を中心に、必要最小限度を計上する予算のこと。

歳　出（一部をピックアップ）

保育所運営費負担金事務
8億9950万円
○認可保育所等運営委託料・無償化適用施設給付費・保育所新設・改修補助金 等

障害者自立支援給付事業
6億9390万円
○主に自立支援給付費（就労型サービス利用者増見込みにより増額）

子ども医療費支給事業
1億1032万円
○主に子ども医療費（制度の改正に伴う対象年齢の引き上げにより増額）

都市計画基礎調査事業
774万円
○町の人口・産業の現況、将来の課題等を把握するための調査（県の要請で5年ごとに実施）

小中学校コンピューターインストラクター派遣事業
673万円
○ICT支援業務委託料

新規就農推進事務
1350万円
○農業次世代人材投資資金（新規就農者の生活資金助成金）

歳　入（主なもの）

▶町　　税　30億2545万円
▶地方交付税　37億　834万円
▶国庫支出金　14億2951万円
▶県支出金　9億8266万円
▶町　　債　4億8795万円

使いみちは？

筑前町予算

50項目にわたった。その一部を掲載。

新しい学びと支援

問 特別支援学級増に対し、今の教室を二分割して使う方法は、今後も行う予定か。

答 教室が足りない場合は、据え付けの壁を設けて教室を二分割し、特別支援学級増に対応するようにしている。（教育課長）

問 タブレットは、町内の学校で、何台くらい配布予定か。

答 小・中学校合計で予備を含め、2550台準備している。（教育課長）

問 オンライン学習には通信料が発生するが、対応は。

答 就学援助制度等で新たにオンライン学習通信費を計上しており、必要に応じて補助を行いたい。（教育課長）

こども・子育て

問 美和みどり保育所は会計年度職員が30名ということだが、新規採用の予定はないのか。

答 一対一補充を原則としている。（こども課長）

問 正規職員を雇う方向で進めてもらいたいが、どうか。

答 民間保育所についても、正職以外いろいろあるので、十分検討しながら進めていきたい。（こども課長）

問 町の産後ケア事業についてのお知らせは、されているのか。

答 母子健康手帳配布の時にお知らせし、周知を図っている。（健康課長）

環境と農業

問 暗渠（あんきょ）排水事業はうまくいっているのか。また面積は。

答 4年目は三並・長者町・曽根田・三牟田・篠隈を予定。面積は24～25町。（農林商工課長）

問 令和3年度のラジコン草刈り機の運営予定は。

答 3年度までは、貸出費用は徴収しない。燃料代は負担していただく。（建設課長）

問 森林経営管理制度支援業務委託料は、業者にすべて委託するのか、また町の関与は。

答 意向調査が主になるが、全体を通して町が指示監督を行っている。（農林商工課長）

問 近年の豪雨による下流域への水量、流量は把握しているのか。また、浸水対策に、どのような措置を考えているのか。

答 下流域への水量自体は把握していない。浸水があった地区については、対策を計画している。他の地区についても、随時対策を行っていきたい。（上下水道課長）

予算の令和3年度

予算に対する議員の質問は

マイナンバー

問 マイナンバーカードの取得促進をどのようにしていくのか。

答 まずは、マイナンバーカードの活用策について、組織内で協議し、推進していきたい。（住民課長）

支える福祉

問 生活改善運動推進のために議論の場を設けてはどうか。

答 社会教育施策に携わっている方たちからの意見を伺いながら、検討したい。（生涯学習課長）

問 三輪地区・忠魂碑、夜須地区・忠霊塔の今後の管理は。

答 遺族会の意向を伺いながら方針を決定し、進めていきたい。（福祉課長）

問 地域巡回バスの乗車率などの効率化の目標などは定めてあるのか。

答 第2次総合計画の中で、1便と5便は定員の8割、2便と3便・4便については、5割を目標としている。（企画課長）

職員の定数・資格

問 町の図書館業務において、司書の資格を持っている人は。

答 各図書館に10名の職員がおり、その内の7名が司書の資格を持っている。（生涯学習課長）

問 会計年度任用職員が年々増加しているが、適正な人事管理はできているのか。

答 行政全体の事務は、膨大に増えており、それに伴う正規職員関係を全て入れるには人件費の増大等もあるので、できるものは会計年度任用職員等で対応したい。（総務課長）

企業誘致

問 ヤクルト移転計画の状況は。

答 町長は定期的に相手方、責任のある方と情報交換をとっている。コロナ禍が緩和されれば上京して、話をしたい考えである。（副町長）

住宅リフォーム

問 住宅リフォーム補助事業の2年度の利用件数は。

答 利用件数は56件。498万5千円を助成している。工事費用約9620万円の経済効果があっている。令和2年度で補助事業は終了となる。（都市計画課長）

観光の推進

問 朝倉地域広域連携プロジェクト会議の内容は。

答 県が主導して、甘木朝倉で活動し企画課、農林商工課等も参加している。朝倉の魅力再発見プロジェクト・朝倉の観光振興プロジェクトと朝倉グリーンツーリズム推進プロジェクトの三つのプロジェクト活動を推進している。（企画課長）

一般質問 町政を問う

3月定例会

3月議会では、4名の議員が一般質問を行い、町政全般の現状や方針について報告や説明を求めた。

※一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。詳細は、会議録（ホームページ掲載・図書館設置）をご参照ください。

会議録はこちらから

▶木村 和彦 議員…… P11
水稲作付面積の今後の推移は

▶柳　雅明 議員…… P12
地域医療の将来像

▶寺原 裕明 議員…… P13
ワクチン接種の相談窓口は

▶河内 直子 議員…… P14
農家の自家増殖禁止理由を海外流出防止のためとするのは無理がある

インターネットで議会傍聴しませんか！

令和3年第1回定例会
（3月2日～12日、本会議開会3日間）

インターネットライブ中継
視聴者数
137名

議会の様子をライブ配信（生中継）・録画配信しています。パソコンやスマートフォン等でアクセスしご視聴ください。
録画映像配信は、議会終了約3日後からです。

映像配信はこちらから

木村　和彦　議員

水稲作付面積の今後の推移は

長期的には減少傾向にある

普通作農家の支援

木村　麦・大豆生産者の所得増につながる対策は。

農林商工課長　水田リノベーション事業や麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクト事業に取り組んでいる。

木村　水稲作付面積は今後の作柄や作況をみて考える必要があるのでは。

農林商工課長　米の消費量は減少しており、作付面積は長期減少傾向を見込まざるを得ない。

木村　農業を一つの公共財と位置付け、今後も普通作農家の支援を求める。

町長　農業をしっかりと守り、活用していく考えを基本として、町づくりを進めていく。

種苗法改正に伴う行政の対応は

木村　種苗法にある登録品種・一般品種の違いは。

農林商工課長　一般品種は誰もが自家採種や自家増殖が出来るが、登録品種は許諾が必要となる。

木村　許諾申請・許諾利用料支払いの手続きは。

農林商工課長　水稲の「元気つくし」、いちごの「あまおう」を例にとると、従来から申請は許諾団体が対応し、許諾利用料は種子・苗の購入代金に含まれている。

木村　法改正は生産者にとって金銭面・申請手続き等の負担が増すのか。

農林商工課長　福岡県の登録品種は許諾制を従来から導入しており負担増は考えられない。

自家増殖で育ったあまおう（許諾申請済）

木村　今回の法改正について生産者や消費者への説明・対応は。

農林商工課長　農水省は、各団体や消費者に対して説明会等を実施し、改正の趣旨である海外流出防止等の周知を図っている。町としても動向を注視して対応していく。

※種苗法改正とは

登録品種の海外流出防止等を図るもの。育成者権者の知的財産を守り、登録品種のむやみな拡散を防ぎ、ブランドを維持していくことで、新品種の開発を促し、今後の農業振興につなげていく。

明るい農業を未来へ

柳　雅明　議員

地域医療の将来像

かかりつけ医院と行政との連携を図る

住民のよりどころとしての医院

柳　コロナ感染の心配があり、検査をしたいと思っている人は多い。しかし、実際に検査できる人は、自覚症状があり、検査基準に該当する人に限られている。

　そのような思いをしている人の「心配な気持ち」を受け止めてくれるのが、地域医療として存在するかかりつけの医院であり、住民の心の支えとなる、大変重要な場所であると考える。

　最初の心のよりどころを、医院で受け止めて、患者の観察記録が、現在そして未来また発生するかもしれない感染症の治療法や、解明につなげることができる場所であってほしい。

町と地域医療との連携は

柳　今後未知の感染症が発生した場合、かかりつけ医院と、町との連携をどのように構築していくのか。

健康課長　本町第2次総合計画の中で、「健康で生きがいのある暮らしの実現」をはじめとして「支える」の中で、地域医療で住民の健康づくりに尽力いただいている。かかりつけ医の先生方の力は、大いに必要である。総合的な支援として、地域医療連携体制の確保に努めていきたい。

環境の町づくり

柳　世界的な温暖化対策を考える上で、CO_2削減「カーボンニュートラル」の課題は私たちすべてが取り組まなければならない、地球規模の問題である。

　町は「環境を重視した町づくり」を掲げ、魅力ある住居環境の推進を、政策目標の第一の柱と位置付けている。

　温室効果ガスは適度に地球を暖めて、日々の生活のための温度を上手に保っているが、排出量の抑制を怠ると、バランスが壊れはじめ、温暖化が進行して、大災害が地球規模で発生することが予想される。

町行政の取組み

柳　各課はどのようにして、温暖化対策に今後取り組んでいくのか。

農林商工課長　間伐や山の手入れなど適正な森林保全への貢献を、林業活性化対策で期待したい。

　あわせて、農業分野でも対策していきたい。

環境防災課長　分別の取り組みや、生ごみ量の抑制、さらにリサイクルでの再使用などの推進を図ることで対応する。

教育長　小中学校教育の中で、持続可能な社会をつくる力を、関係する教科の中で育成していく。

未来の子どもたちのために!!

寺原　裕明　議員

ワクチン接種の相談窓口は

コールセンターを設けて対応する

コロナワクチン接種　町民への働きかけは

寺原　現時点におけるワクチン接種スケジュールは、どうなっているか。

健康課長　国などからのワクチン供給スケジュールが判明次第、町民にお知らせしたい。

寺原　ワクチン接種について、町民への周知や働きかけは。

健康課長　対象者への通知、町ホームページを含むＬＩＮＥ、防災行政無線を活用して行う。

寺原　国は、ワクチン接種は個人の判断によることとしているが、町も同じ捉えと考えてよいか。

健康課長　ワクチン接種は強制ではなく、あくまでも、ご本人の意思に基づいて受けていただくものである。

寺原　ワクチン接種についての相談や問い合わせがある場合は。

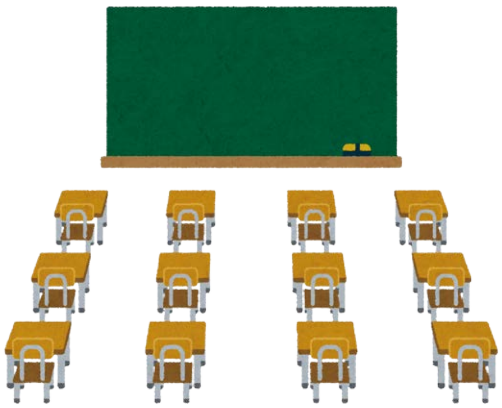
健康課長　住民の皆様からの相談や問い合わせなどに応じるコールセンターを開設準備中である。

ワクチン接種の様子

来年度から実施される「35人学級」の取り組みは

寺原　来年度から「少人数学級」が実施されるが、学級増はどれくらいか。

教育課長　全学年完全実施となる令和7年度までに、三輪小学校で1クラス増、中牟田小学校で3クラス増の予定である。



寺原　中学校に「35人学級」が措置されなかったのはなぜか。また、将来的な「30人学級」の実現に向けて、どのように取り組んでいくつもりか。

教育長　中学校は教科担任制であるので、措置が難しい面があったのではないか。中学校における「35人学級」の早期実現と併せて、将来的な「30人学級」を実現するために、近隣の市町村と連携しながら、国や県に対して要求をしていきたい。

河内　直子　議員

農家の自家増殖禁止理由を海外流出防止のためとするのは無理がある

農家に混乱がないよう、動向を注視していく

自家増殖を原則自由から原則禁止に１８０度転換

河内　種子法廃止で、公的種苗事業の法的根拠をなくし、農業競争力強化支援法により、品種の知見を民間企業に払い下げることを法定し、農家に自家増殖されては民間事業者が種苗事業で儲けられないので原則禁止にするのではないのか。

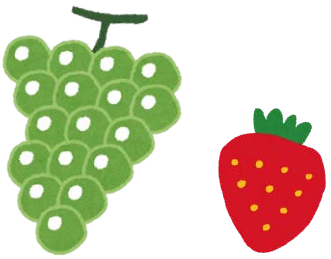
農林商工課長　国のガイドラインに沿って、その動向、民間事業者も含め、注視していきたい。

河内　家族農業を重視し、種子の権利が国際的に広く認められる中で、自家増殖を原則禁止する種苗法改正は、世界の流れに逆行するのではないか。

農林商工課長　種苗法の管理運営が適切になされるよう、農家に混乱がないよう、動向を注視していきたい。

町長　全国的な町村の課題でもあり、全国町村会等で研究・検討してもらい、政策的・政治的に動きが必要であれば、他の自治体と歩調を合わせながら取り組んでいきたい。

河内　企業による種の支配を許さず、稲などの主要農作物の種子は公的な供給体制を維持し、野菜や穀類を含めた在来品種の種子については、地域の共有財産と位置づけ、農家や市民が日常的に自家採取し利用し、次世代へと引き継ぐことが必要だ。



ブドウといちごの海外流出は
農家の自家増殖とは関係なし

自宅待機者への支援は

河内　新型コロナウイルスに感染し、入院もホテル待機もできず自宅待機を余儀なくされている方々へ、行政としてどのような支援を行っているのか。

福祉課長　社会福祉協議会にお願いし、食料品や日用品の買物を支援するようにしているが、実績は今のところない。

さらなる負担増の介護保険第８期事業計画

河内　利用者の負担増が計画されている。

　この計画では、施設の食費負担が、「住民税非課税世帯・年金収入１２０万円以上が、２万円から４万２千円に引き上げ」となり、介護の利用料は「年収７７０万円以上の層が、現行の４万４４００円から９万３千円に、年収１１６０万円以上の層が14万１００円に引き上げ」となる。

　本来、応能負担というのは、税・社会保険料における負担の原則ではないのか。

福祉課長　応益負担の範囲内での応能負担の見直しであると考える。

一般質問 その後『どうなった？』

過去に議員が行った一般質問が、その後町政にどう活かされたのか追跡調査しています。

新生児へ給付金を
（令和2年6月定例会）

質問

特別定額給付金10万円の対象外の新生児に対しても、お祝い金として給付金を出すことはできないか。

（質問者：横山善美議員）

答弁

意見を十分尊重し、検討していきたい。

（町長）

どうなった？

令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた新生児を対象に、町独自の臨時特別出産祝金として5万円支給された。

対象者数　227人（4月5日現在）

おくやみハンドブックの作成を
（令和2年9月定例会）

質問

死亡手続き時の遺族の負担軽減を図るため、手続き方法を更に分かりやすく記載したハンドブックを作成できないか。

（質問者：石橋里美議員）

答弁

利用者の立場に立って、各課横断的な連携をやっていく。

（町長）

どうなった？

「おくやみ手続きガイドブック」を作成し、令和3年4月より住民課窓口等で配布している。

福岡県知事と筑前町長選挙の同日投開票の提言をしました

筑前町長選挙は、当初4月18日（日）の予定でした。しかし、福岡県知事選挙が4月11日（日）に決定されたことを受け、町民の方々のご意見や、経費面での節約・人的繁忙の軽減を図るため、議会運営委員会では同日選挙が望ましいと考え、議員全員に諮りました。

議員の総意として、両選挙の投開票日を同日にするよう議長・議会運営委員長・事務局で、3月5日（金）に町長を経由し町選挙管理委員会に申し入れをしました。その後、投開票日が4月11日に変更になり、同日での投開票が行われることとなりました。

※町長選挙は無投票でした。

卒業おめでとう！

コロナ禍の中、卒業の日を迎えた児童の皆さんへ
校長先生からメッセージをいただきました。

中牟田小学校卒業式の様子

中牟田小学校では感染症対策を取りながら卒業証書授与式を行いました。59名の卒業生が本校を巣立っていきました。新型コロナ感染症対策によって行事や取り組みが制限される中、「いつもとは違った方法」を柔軟に取り入れて多くのことをチャレンジしてきました。特に本年度の運動会や修学旅行は難しい状況での実施でしたが、自分たちの持っている力を十分に発揮できたと思います。

その経験を必ず活かしてこれからの学校生活に挑んでくれることを願っています。

（中牟田小学校　前校長　荒木 賢治 先生）

あなたの“とっておきの一枚”を「うぐいす」の表紙に！

【応募資格】 町内に在住もしくは通勤・通学の方

【被写体等】 風景・人物問わず、町内で撮影したもの
（被写体の承諾を得たものに限ります）

【応募方法】 写真データを議会事務局に提出

※詳しくはホームページまたは
議会事務局までお問い合わせください

◇問合せ先◇　筑前町議会事務局
TEL：0946－42－6622
E-Mail：gikai@town.chikuzen.fukuoka.jp

令和3年6月定例会日程（予定）

6月4日（金）～6月11日（金）

一般質問　6月8日（火）・9日（水）

※日程は変更になる場合があります

【一般質問通告書の公開】
5月25日以降、ホームページで公開する予定です。支所窓口や議会事務局でも配布していますので、ぜひご覧ください。

編集後記

『セトモノと　セトモノと
ぶつかりっこすると
すぐこわれちゃう
どっちかやわらかければ
だいじょうぶ
やわらかいこころを
もちましょう
そういうわたしは
いつもセトモノ』

これは詩人相田みつをの「セトモノ」です。

コロナ禍で生活が一変し、今まで普通に出来たことができずストレスが溜まり、ちょっとした言葉で相手を傷つけてしまったことがありました。

まずは、相手を思いやれる優しい心・柔らかい心を持って身近な家族や友に、接したいと思いました。

（石橋　里美）

発行責任者
議長　田中　政浩

議会広報特別委員会
委員長　石橋　里美
副委員長　柳　雅明
委員　寺原　裕明
委員　木村　和彦
委員　木村　博文
委員　河内　直子

印刷／井上紙工印刷㈱　福岡県朝倉市持丸625-1　☎0946-22-3951